

まほろば秦野通信

令和元年12月27日

| | |
|----------------|---|
| タイトル | 子供たちが無病息災、家内安全を祈り家々を回る 地域の伝統行事「あくまっぱらい」 |
| What (なにを) | 江戸時代から続く小正月の伝統行事「あくまっぱらい」を各地域で開催します |
| When (いつ) | 【北地区・横野】 1月11日(土曜日) 午前8時半集合 加羅古(からこ)神社(横野608) |
| Where (どこで) | 地元では獅子舞と呼ばれ、地区の小・中学生が、最年長の大將を中心に獅子頭をかぶり、太鼓を鳴らしながら「舞い込め」の掛け声とともに、横野地区の約200軒の家のお払いをして回ります。一時途絶えていた時期がありましたが、昭和40年代に子ども会が再開しました。 |
| Who (だれが) | 【西地区・堀西】 1月11日(土) 午前9時半集合 天津(あまつ)神社(堀西769) |
| How (どのように) | 波多川(はたがわ)子ども会の子ども達が獅子頭を持ち、地区の約200軒の玄関先などを回り「あくまっぱらい」と大声で唱えます。 |
| | 【上地区・菖蒲】 1月13日(月) 午後3時集合 道祖神前(菖蒲997) |
| | 下東(しもひがし)地区の小・中学生の男子が、最年長の大將を中心に獅子頭や御幣(ごへい)を持ち、ひょっとこの仮面をかぶって、菖蒲地区の約150軒の家の玄関先などで「あくまっぱらい」と大声で唱え、手作りの札を配ります。 |
| Why (なぜ) | 「あくまっぱらい」とは、いくつかの地区に伝えられている道祖神祭りの別名の一種で、無病息災、家内安全を祈る行事です。 |
| 過去の実績 | 毎年小正月(1月15日前後)に行われます。 |
| 問い合わせ | 生涯学習課 文化財・市史担当 担当: 山口 電話0463(87)9581 |

